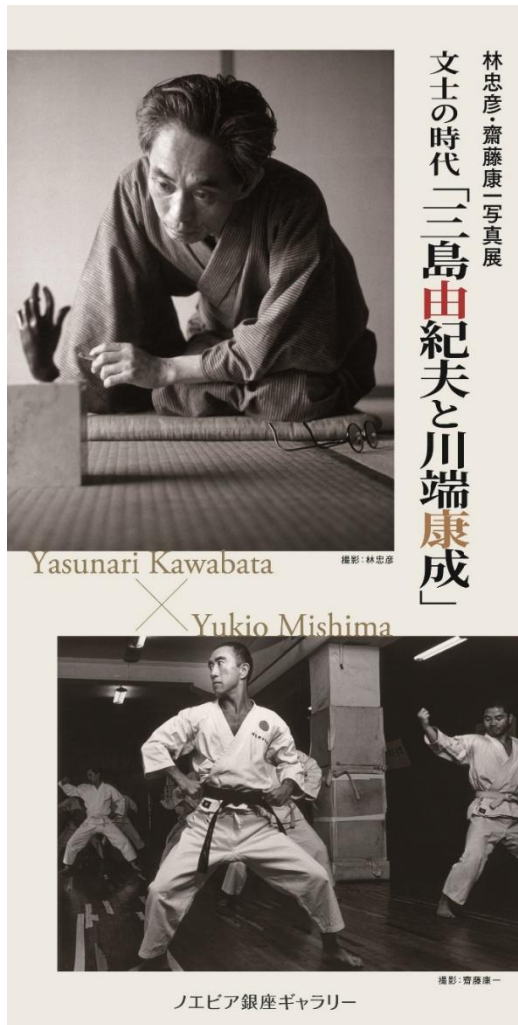


林忠彦・齋藤康一写真展 文士の時代 「三島由紀夫と川端康成」

ノエビア銀座ギャラリーにて開催

2026 年 8 月 24 日～10 月 30 日



ノーベル文学賞を受賞し、伝統美に対する審美眼でも知られる川端康成（1899～1972）。そして、“昭和”を駆け抜け、衝撃的な死を遂げた三島由紀夫（1925～1970）。三島が処女小説集を川端に送ったことから親交が始まり、生涯に渡り交流を続けました。日本を代表する二人の文士の知られざる素顔に迫る写真展です。

林 忠彦（はやし ただひこ） 1918～1990 山口県生まれ

山口県徳山市（現・周南市）に、祖父が明治 30 年（1897）に開いた林写真館の長男として生まれる。戦中・戦後を通じ雑誌のグラビアページを中心に第一線で活躍。銀座のバー「ルパン」で撮影した太宰治や坂口安吾ら作家のポートレイトをはじめ、人物写真で知られる。

齋藤 康一（さいとう こういち） 1935～ 東京生まれ

昭和 10 年（1935）、東京に生まれる。日本大学芸術学部写真学科在学中より林忠彦、秋山庄太郎の助手を務め、卒業後フリーランスに。週刊誌、月刊誌のグラビアページのため 2000 人以上の人物を撮影。温かな眼差しのヒューマンドキュメントに定評をもつ。

～ 林忠彦・齋藤康一写真展 文士の時代 「三島由紀夫と川端康成」 ～ 《入場無料》

会 期：2026 年 8 月 24 日（月）～10 月 30 日（金）
開 催 時 間：午前 9 時～午後 5 時 30 分
会 場：ノエビア銀座ギャラリー（ノエビア銀座ビル 1F）
主 催：株式会社ノエビア
お 問 合 せ：0120-401-001

（月～金/午前 10 時～午後 5 時 土・日・祝日除く）

ノエビア銀座ギャラリーサイト <https://gallery.noevir.jp/>



東京都中央区銀座 7-6-15

<マスコミの方からのお問い合わせ>

株式会社ノエビアホールディングス 東京都中央区銀座 7-6-15 広報・IR 部
TEL 03-5568-0305 FAX 03-5568-0441 MAIL ir@noevirholdings.co.jp